

## 平成26年度真砂地区区民対話会 議事要旨

- 1 日時 平成27年1月25日(日) 13:30～15:20
- 2 場所 美浜区役所4階 講堂
- 3 参加者 区民 22名、区職員 5名  
(参加区民の所属団体)  
第31地区町内自治会連絡協議会、社会福祉協議会真砂地区部会、  
第607地区民生委員・児童委員協議会、真砂中学校区青少年育成委員会、  
真砂小学校地区スポーツ振興会、真砂地区老人クラブ連合会、  
千葉西交通安全協会、美浜地区保護司会、  
真砂東小学校保護者と教職員の会、真砂中学校 PTA
- 4 テーマ 地域の将来像と担い手

### 5 議事内容

- (1) 開会及び参加者自己紹介
- (2) 区長講話  
配布資料により、地域コミュニティ及び真砂地区の現状について説明。
- (3) 意見交換  
主な意見は以下のとおり。

#### ■担い手の確保

- ・各団体がどのような活動をしているかを積極的に情報発信し、知ってもらうことが大切。
- ・担い手が少なくなっている背景には、地域住民の無関心があるのではないか。地域活動は、活動の受け手である住民がメリットを実感し、「参加することが我々にとって有益だ」と思ってもらえる活動が大事だ。
- ・学校の保護者会では、大多数の保護者が仕事をしているため、役員の引き受け手がなかなかいない。会長の仕事は多いので、過度に集中しないよう役員間の協力体制ができるといい。

- ・育成委員会の役員を児童の保護者から探そうにも、フルタイムで働いている保護者が多く、役員を引き受ける方は少ない。今後の高齢化、少子化を考えると見通しは暗いが、だからこそ、各団体が連携して地域運営委員会の取組を進めていきたい。ひとつの団体で完結するのではなく、横のつながりを作り、健康づくりや美化活動など、活動の幅を広げて今後の少子高齢化に備えたい。
- ・社協には他の地域団体の方も入っており、様々な方に幅広く関与いただいている。担い手を推薦いただくこともあり、担い手が不足していることはない。

#### ■団体の活動

- ・以前から公園がきれいでよく管理されていると思っていたが、学校の保護者会役員になって初めて、ボランティアの方が清掃をしてくれていることを知った。地域を良くするために活動している人がいることを、他の保護者に知ってもらうことが大事だと感じている。
- ・保護者会の役員をやっていると、保護者から学校内の様々な問題を耳にする。その問題について学校に確認するが、学校の対応には解決になっていないと思えるものがある。そういう場合に、対象の子供もお母さんも、保護者会がケアしていかねばならないと感じる。
- ・保護司は、犯罪を犯した方の立ち直り支援を担っている。美浜区では区役所にサポートセンターを置くなど、他の地区に比べて環境が整っているが、保護司の人材確保には苦慮している。地域に興味をお持ちの方がいらっしゃったら、ぜひ紹介いただきたい。特に高洲、高浜地区では保護司が不足している。
- ・運転免許証の更新は西警察で行い、その際にぜひ交通安全協会の会員になってほしい。会費は交通安全推進活動に使わせていただく。現在14人の指導員がいるが、予算がなく十分な活動ができない。
- ・学校の校庭を開放しサークル等で使用できるようになったが、場所が足りない・狭いという声がある。使い勝手の面でスポーツ振興会として何らかの工夫ができないかと思料している。

#### ■課題、要望

- ・地元の中학생や高校生との意見交換会をぜひ開催してほしい。市や区に考えてほしいのは街をどう活性化していくかであり、それには若い人の意見が大事。中學生や高校生を地域から公募し、将来に向けてこの街をどうするかをテーマに話し合うことは有益だ。
- ・私は、周りに子供を誘惑するものがないという理由で真砂に引っ越してきた。子育てができる街、子育てに適した街であることをアピールし、若い世代を呼び込むことが地域の活性化につながるのではないかと。

- ・学校が外部講師を呼んで行う講座は保護者も傍聴することができるが、平日開催のため参加できない保護者が多い。土日開催としてもらえるとありがたい。また、地域には車椅子の生徒もいるため、車椅子の大変さを知ってもらう講座を日本赤十字社の協力を得るなどして行うといいのではないか。それがきっかけとなり、他団体との連携も生まれると思う。
- ・振り込め詐欺への対策として、千葉西警察署の正門の看板に「オレオレ詐欺に気をつけて」という看板を立て通行者への周知を図ってほしい。
- ・今後も増える認知症に対応できるよう、市立海浜病院に認知症外来を新設してほしい。福祉の実現のため市立病院が対応すべき課題だ。
- ・商店街が減ったため、近所に買い物ができる店がないところもある。今後進行する高齢化により、この問題はより大きくなっていく。県企業庁が所有地を売却する際、その土地に日常生活の買い物ができる店が建つよう工夫できないか。
- ・学校統廃合に伴う跡地活用は、既存の環境に適合し、かつ、地域の需要に応えるものとなるよう行政が仕向けてほしい。地域からはデイサービスやショートステイなどの要望もある。また、認知症対策や在宅医療・在宅看護にも中長期的に取り組んでほしい。
- ・現役世代はほとんどが他の地域に仕事に出るため、昼間は高齢者と子育ての母親が多く、防災面で不安がある。防災の専門家を各自治会にあっせんするような制度を検討してほしい。
- ・避難所運営委員会の立ち上げ状況が悪い。自治会の数が多いことに加え地区連協には事務局もないため、地区連協が主体となって立ち上げを推進することは困難だ。避難所運営委員会を軌道に乗せることができるよう、区の支援や指導をお願いしたい。
- ・市から各自治会に防災ラジオが配布されたが、各自治会での活用状況を確認し、必要なフォローを行ってほしい。また、小学校等にある非常用井戸について、鍵はどこでどのように保管されているのか、使う際はどうするのかを教えてほしい。
- ・花見川近くの道路のひび割れや、川岸の陥没の原因を教えてほしい。東日本大震災によるものか、それとも耐用年数経過によるものか。

#### (4) 閉会